

家計調査の改善・刷新に向けて

平成28年12月27日
総務省統計局

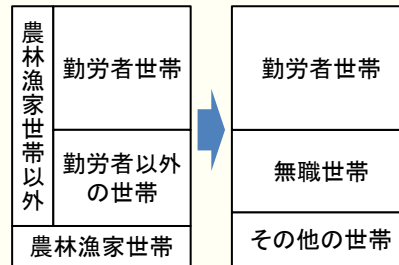
家計調査の改善・刷新（全体概要）

家計調査の標本改正を平成30年1月に実施。統計委員会の審議を経て、調査票の改定、オンライン家計簿の導入等を内容とする調査改善・刷新（第1段階）に着手

第1段階（平成30年1月～）

【抽出区分の変更】

- ・農林漁家世帯の区分廃止
- ・「勤労者世帯」、「無職世帯」、「その他の世帯」の3区分に変更
- ・無職世帯の集計を追加
- ・勤労者以外の世帯等の集計を廃止



【調査票（家計簿等）の改定】 P2～3参照

《家計簿の充実・省力化》

- ・給与、年金収入に要する記載事項（所得、税等）をプレコード化
- ・毎日の標準的な記帳ページ数を1ページから見開き2ページに充実
- ・クレジット払いに加え、電子マネー、デビットカード等の現金以外の支払い方法の選択肢を充実
- ・現物収支記入の廃止

《世帯票（調査員による聞取調査）の簡略化》

【オンライン家計簿の導入】 P4 参照

- ・スマホ、タブレットでも使えるオンライン家計簿を導入
- ・レシート読取機能を実装し、手軽な入力をアシスト



第2段階

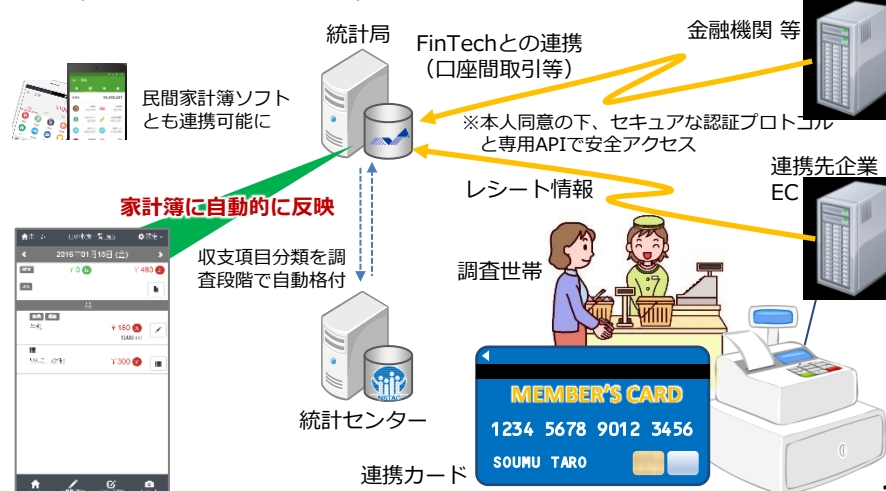
【家計の個別化（個計化）対応】

調査世帯の家計簿記入は、各家計管理のパターンに合わせて組立可能に（DIY化）



【家計簿自動入力】

買い物時に提携カードの提示によってポイントがついて家計簿も自動作成。口座入出金情報や民間家計簿ソフトとも連動可能に



口座振込が通例化している給与・賞与、公的年金については、共通的な手当、控除項目（税・社会保険料等）を含めプレコード化した口座入金ページを新設

家計簿の改定（日次収支記帳）

日次収支様式を標準 1 ページから見開き 2 ページに拡張。クレジット払いに加え、電子マネー、デビットカード等の現金以外の支払い方法の選択肢を充実（決済手段のプレコード化）

日(曜日)			
I 現金収入又は現金支出			
(1) 収入の種類又は支出の品名及び用途	(2) 現金収入 (円)	(3) 数 量 単位	(4) 現金支出 (円)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
合 計			

本日の現金残高

円

Ⅱ クレジットカード、掛買い、月賦による

購入又は現物〔もらい物(現物給与を含む。)、自費産、自分の店の商品〕

- ★ 換算いで購入したときは、「1」一括払い購入。月賦で購入したときは、「2」分割払い購入を○で囲みます。
★ 現物とは、よそからもらい物をしたり、勤め先から定期給付を支給されたりした場合、また、自家産のものを家計に取り入れたり、自分の店の商品を家計にまわしたりした場合をいいます。
★ それらの品物を入手した際に必ず記入します。

(1) 品名及び購入方法 おの願するものを○で囲んでください	1 2 3 4 5 一 二 三 四 五 一 二 三 四 五 一 二 三 四 五 一 二 三 四 五	(2) 数 量	(3) 金 額 もしも(1)～(5)の品を全て10月分購入、各1分の額の購入に見積額	
				単位
1	1 2 3 4 5			
2	1 2 3 4 5			
3	1 2 3 4 5			
4	1 2 3 4 5			
5	1 2 3 4 5			
6	1 2 3 4 5			
7	1 2 3 4 5			
8	1 2 3 4 5			
9	1 2 3 4 5			
10	1 2 3 4 5			

價 值

日 (曜日)		前期からの繰越金 (平 均 当 金)		円
Ⅲ 現金収入又は現金支出				
(1) 収入の種類又は 支出の品名及び用途	(2) 現金収入 (円)	(3) 数 量 食料高は1か月間の平均 購入に基ず	単 位	(4) 現金支出 (円)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
合 計		本日の現金消費		

IV クレジット・電子マネーなど現金以外による購入

※プリペイド(前払い)方式の電子マネー(Suicaなど)で商品・サービスを購入したときは、「3」(プリペイド)を○で囲んでください。

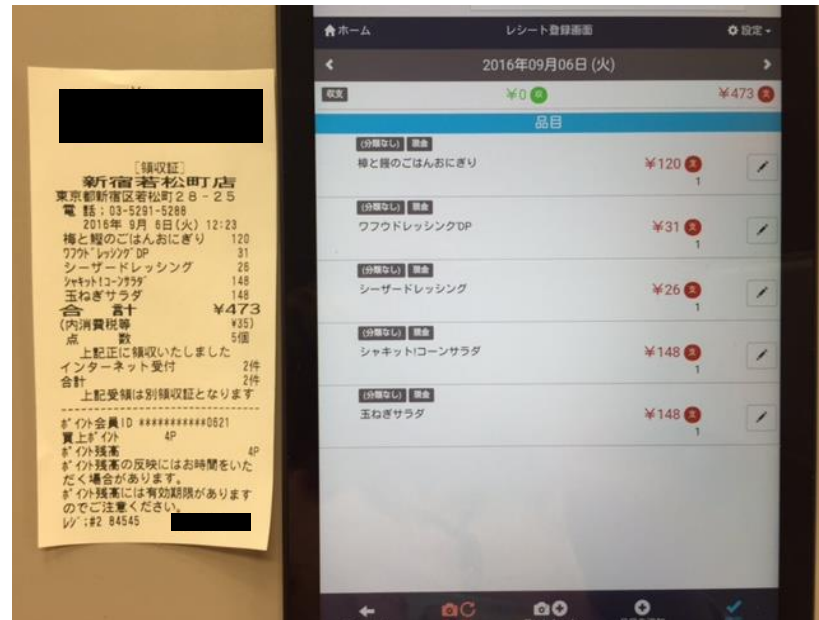
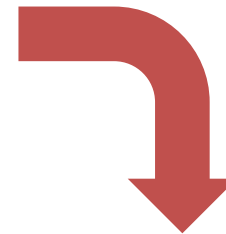
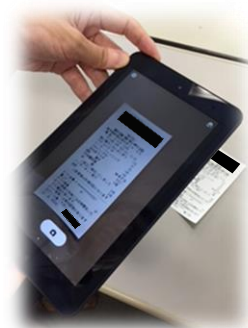
(1) 品名、用途及び購入方法 製造する番号を○で囲んでください	クレジット 取引の月別 平均								備考	(2) 数量 実数量は1か月の平均 記入します	(3) 金額 自分の店の数量は 実数量×単価を記入します
	1	2	3	4	5	6	7	8			
	一分 の二	二分 の五	三分 の三	四分 の二	五分 の二	六分 の五	七分 の三	八分 の五			
	1	2	3	4	5	6	7	8			(円)
1	1	2	3	4	5	6	7	8			
2	1	2	3	4	5	6	7	8			
3	1	2	3	4	5	6	7	8			
4	1	2	3	4	5	6	7	8			
5	1	2	3	4	5	6	7	8			
6	1	2	3	4	5	6	7	8			
7	1	2	3	4	5	6	7	8			
8	1	2	3	4	5	6	7	8			
9	1	2	3	4	5	6	7	8			
10	1	2	3	4	5	6	7	8			
11	1	2	3	4	5	6	7	8			
12	1	2	3	4	5	6	7	8			
13	1	2	3	4	5	6	7	8			
14	1	2	3	4	5	6	7	8			
15	1	2	3	4	5	6	7	8			
16	1	2	3	4	5	6	7	8			
17	1	2	3	4	5	6	7	8			
18	1	2	3	4	5	6	7	8			
19	1	2	3	4	5	6	7	8			
20	1	2	3	4	5	6	7	8			
21	1	2	3	4	5	6	7	8			
22	1	2	3	4	5	6	7	8			
23	1	2	3	4	5	6	7	8			
24	1	2	3	4	5	6	7	8			
25	1	2	3	4	5	6	7	8			
26	1	2	3	4	5	6	7	8			
27	1	2	3	4	5	6	7	8			
28	1	2	3	4	5	6	7	8			
29	1	2	3	4	5	6	7	8			
30	1	2	3	4	5	6	7	8			

• •

オンライン家計簿の導入

PC・タブレット・スマートフォンで利用可能なオンライン家計簿を導入（※今後の調査機能の改善・刷新の基盤として活用）。レシート読取機能を実装。

The screenshot shows a web browser window with the URL <https://e-trialfi...> and the title "オンライン家計調査". The interface includes a menu bar with options like "ファイル(E)", "編集(E)", "表示(V)", "お気に入り(A)", "変換", and "選択". Below the menu, there's a "ホーム画面" button and a "設定" dropdown. The main content area displays the "調査期の現金残高" (Cash balance for the survey period) as ¥47,620. The date is set to "2016年07月20日 (水)". The "収支" (Income/Expense) section shows ¥0 income and ¥0 expense. A "メモ" (Memo) field is present, and a button "収支を見る" (View Income/Expense) is available. Below this is a calendar for "2016年07月" (July 2016). The calendar shows days from 26 to 31, with some days marked as "完" (Complete) or "△" (Warning). At the bottom, there are buttons for "1期計" (1st Period Total) and "2期計" (2nd Period Total), both showing ¥0 income and ¥25,320 expense. A "提出" (Submit) button is at the bottom right. The footer contains icons for "まとめて追加" (Add all at once), "レシート" (Receipt), "グラフ" (Graph), and "伝達事項" (Communication items).



(参考) 平成30年の調査・集計体制

平成30年1月から行う家計調査の見直し（調査票の改定等）は、過去の改定と比較しても大幅な変更を伴うことから、当該改定が集計結果に一定の影響を与える場合に備え、平成30年は調査・集計体制を二分し、新・旧方式をオーバーラップさせた調査・集計を行う並行運用を採る。

平成30年1月
(2018年)

平成31年1月
(2019年)

現行調査方式

※オンライン調査は、新方式の調査世帯
で調査開始月に合わせて順次導入

新調査方式